

# 研究成果発表会を開催 日本建設技術グループ



【佐賀】日本建設技術(株)(原裕代表取締役社長)グループは9日、令和4年度研究成果発表会「写真」を唐津市の唐津シーサイドホテルで開催した。グループ会社の社員など約150人が参加し、同社の昨年度の歩みや実績、成果発表等を熱

心に聞いた。研究成果発表会は例年開催しており、今回で第18回目となる。グループ会社の社員のほか、古川康衆議院議員や福岡資磨参議院議員、峰達郎唐津市長などが参加。冒頭、原社長は、「毎年、表彰者が増えており、それは会社が良くなっているということだと思つ。今後もさらに増えたい。しっかりと仕事をし、良い成績を発

注者に返すということに念頭に置いてやっていけば、自ずとそうなっていくだろう」と述べた。成果発表では初めに、「2021年の歩みと防災とグリーン社会」と題し、原社長が講演。佐賀県優秀技術者等表彰(知事表彰)や九州地方発明表彰発明奨励賞などの受賞や、技術研修会を開催したことなどを紹介した。加えて、温暖化に伴う気候変動により豪雨災害などが増加していると

し、ミラクルソルを用いた大規模造成地の排水工法や、グリーンインフラの構築について発表した。また、企画開発戦略本部技術研究所の落合一明課長が「高木瀬ふれあい公園におけるFWG・透保水性舗装の温度測定結果」について、建設&コンサルタント事業本部建設第1事業部第1グループ建設3課の石原誠太郎

課長が「成瀬地区地すべり対策工事報告」について発表した。このほか、優秀な成績を収めた社員の表彰と、新入社員の紹介などを行った。